

上小だより

令和8年3月19日
文責 校長 山本祥博

育成をめざす3つの力「思いやりの心・がんばりぬく力・伝える力」

いよいよ卒業式を迎えます

上小を巣立っていく卒業生を祝うかのように、職員室から見える桜の木に一輪また一輪と花が咲き始めました。創立150周年を迎えたこの記念すべき年に、最上級生として、あらゆる場面でリーダーシップを発揮し、躍動感、充実感のある学校を作ってくれた6年生の卒業式を23日に迎えます。

本日、6年生の修了式を行い、第6学年の修了証を渡しました。卒業を迎える6年生にこの1年間の頑張りとともに、卒業を迎えることができる喜び、家族にその姿を見てもらえるありがたさ、多くの方々の支え、その思いを受けてこれから命を大切に、自分自身で未来を切り拓いていくことの必要性、責任について伝えました。

来週の月曜日はいよいよ卒業式です。本日の午後からは、これからの上小を担っていく4年生、5年生が卒業式の会場づくりを行います。上小の伝統と、卒業生が見せてくれたリーダーシップのバトンをしっかりと受け継ぎ、さらに発展させてくれることを期待したいと思います。

卒業に向けて

卒業式に向け、主役の6年生は毎日、動きや呼びかけ、歌の練習をしています。担任が一人一人読み上げる氏名点呼に、卒業生の「はい。」と応える返事がとても素晴らしく、わずかの時間に「卒業を迎える担任と卒業生の最後の会話」という強い思いを感じます。また、校内の掲示板には色鮮やかな掲示物も飾られました。保健室の森永先生、事務室の鶴田先生、福元先生が時間をかけて一つ一つ丁寧に作成されました。図書室担当の吉田先生は、卒業生一人一人に6年間の読書の歩みや手作りのしおりをプレゼントされました。その他の職員も卒業生に対しての思いと、卒業生との思い出をかみしめながら、それぞれの立場でしっかりと支えています。別れることは寂しいですが、またいつか大きく成長し、それぞれの場所で活躍する卒業生に会えることを楽しみにしたいと思います。

